



金透坂



令和7年 7月17日(木) 学校だよりNo.21

発行責任者 校長 嶋 忠夫

子どもたちのまわりの人、すべてが先生です!その2

7月16日(水)の5校時に、6年生が総合的な学習の時間に「郡山市湖南町 青松浜の白鳥撮影物語」というテーマで齋藤義益先生からお話をお聞きしました。齋藤義益先生は、湖南町出身で、郡山第二中学校の校長先生を勤めました。現在はお仕事を辞め、猪苗代湖の白鳥の写真を撮ることに夢中だそうです。

齋藤先生から、白鳥の写真を撮ることのおもしろさや工夫、苦勞、思いなどを、身振り手振りを交えて分かりやすく、楽しくお話ししていただきました。飛び立つ白鳥の力強さやかっこよさに感動し、カメラの使い方や、自分が思ったような写真を撮るために白鳥の様子をつぶさに観察し白鳥の研究をすることのおもしろさ、白鳥と会話をしながら白鳥に寄り添ってカメラを構えるおもしろさなどを熱くお話しいただきました。6年生の子どもたちは、目を輝かせながら先生の話に聞き入っていました。そして、先生の問いかけにも、感性豊かに反応し、先生も驚くほどでした。

齋藤先生の白鳥のお話から、次のようなことを子どもたちは学んでいました。

- 偶然を待つのではなく、その瞬間のために準備すること
- よりよいものを目指して様々な角度から研究を重ねること
- 自己実現のために、他者からの助言を受け入れ、改善を図ること
- ネットの情報に頼らず、自分の感性や探求を大事にすること
- 心に思うだけでなく、伝え合うことが大事なこと
- 好きなことをとことん追究して、人生を楽しむこと



夏休みに自分がやりたいと思ったこと、調べたいと思ったことをとことん追究できたら、とてもすてきですね。そんな夏休みになることを期待しています。

齋藤先生の話聞いた子どもたちの感想を紹介します。

自分も写真を撮るのが好きなので、義益先生のような綺麗な写真を撮るにはどうすればよいのかなと心の中で考えていました。自分にいかせることは、説明する時に仰っていた、撮るのが上手な人に「これは、どうかな?」「どうしたらいい?」と聞いて、自分でできることをしっかりと頭に入れて写真を撮っていくことです。写真以外でもいかせることは何かと考えた時に、自分が思ったことをはっきり言えずにモヤモヤする時があるので、しっかりと自分の気持ちを言葉に出して、これからの生活にいかしていきたいと思います。

6年 ○○ ○○

今日は、齋藤さんの「白鳥が好き」という思いが伝わってきて、とっても感動しました！齋藤さんが、全力で、実際に白鳥の写真を撮ったり風向きを考えたりして、苦労して自分の知りたいことをしていることがとってもすてきだなと思いました。全力で自分の思いを伝えることで、相手にも自分の「感動」や「好き」が伝わるプレゼンをすることができると思いました。これから少しでも疑問をもったら、苦労してでも「知る」ため、「感動」するため、予想したり考えたりする！これからは実際にやってみたいと思いました。プレゼンは、難しいけれど、自分の本当に考えたこと、思ったこと、「感動」したことなどを、強い思いをもちながら、伝えることで、相手に「強い思いがあるんだな」と、きっと伝わると思いました。 6年 ○○ ○

知らないと恥ずかしいことはたくさんありますが、もし恥ずかしい思いをしても、その失敗を正しい知識を得る機会にもできるはずだと思いました。知らないことをいくらでも調べたり、確認したりできる恵まれた環境にある現在では、知らないままや分からないままにしておくことの方が恥ずかしいことだと思いました。これからは、知識が足りない自分に対する素直さが自分を助けてくれると思います。そして、素直さを持ち続けるだけで、不思議と知らないことの恥ずかしさが消えるように思います。 6年 ○○ ○

義益先生の話聞いて、すごいな！と思ったのは、両親よりもずっと先輩でも、自分の趣味について熱く語り、気になることについて、全力で追究し研究していることがすごいなと思いました。私も先生のように、自分の気になることについて、とことん追究していききたいなと思いました。次に、自分に活かしたいことは二つあります。一つ目は、努力をしなきゃいい音はでない、努力をしなきゃいい写真は撮れないという言葉です。私は休み時間などに楽器を練習できていません。いい音にしたければもっと努力しないとイケないと思いました。二つ目は、先生のように自分の好きなものを研究して熱くなれる趣味を見つけたいなと思いました。 6年 ○○ ○○

齋藤先生の白鳥と写真の物語を聞いて、ある小さなきっかけから大きな疑問につながることもあることを知りました。自分でも、小さな不思議を見つけて、自分から問いを調べられるように齋藤先生をお手本にがんばりたいなと思いました。齋藤先生のお話を人生やこれからに生かせるように、小さなことから始めていききたいと思います。そして、自分から学ぶ力をもっと高めていききたいと思うようになりました。これからも勉強をがんばります。 6年 ○○ ○○

お話を聞いて考えたことは、新しい発見は運命的な出会いなんだと考えました。理由は、義益先生は、両親の介護のため病院に行き、疲れてリフレッシュするために猪苗代湖に行って眠って起きたら、白鳥が目の前を飛んでいったという奇跡から、白鳥と出会い、そこから白鳥について知り、白鳥のことが大好きになったという運命的な出会いがありました。そこから、白鳥のことを調べたり、写真を撮ったりしていたので、急なことから始まってできるんだなと考えました。自分に生かせることは、義益先生は、自分がいい写真と思ったけど、写真仲間からすると何かが違うという意見が出てしまうという違いが出てしまうことがあるけど、その意見を素直に受け止め、反省点を探し、次に活かすことが大切なんだと授業を受けて感じました。 6年 ○○ ○○

子どもたちは、齋藤先生の話をしっかり受け止め、自分のこれからのあり方を考えていました。すてきなお話をしてくださいました齋藤義益先生、本当にありがとうございました。